

三重県の食について e-モニターアンケート実施報告書

三重県の食についてのアンケートの実施結果を、下記のとおりご報告いたします。
アンケートにご協力いただきましたe-モニターの皆様には厚くお礼申し上げます。
結果については、みえの県民カビジョンや食育推進計画等の目標値として公表し、今後の取り組みに活用いたします。

アンケート概要

- 1 実施期間 平成26年2月4日(火)から2月17日(月)まで
- 2 対象者数 1,191人
- 3 回答数 769人
- 4 回答率 64.6%
- 5 回答者属性

【性別】

| | 男性 | 女性 |
|------|-------|-------|
| 回答者数 | 438人 | 331人 |
| 構成比 | 57.0% | 43.0% |

【年齢階層別】

| | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代以上 |
|------|------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 回答者数 | 74人 | 144人 | 203人 | 166人 | 144人 | 38人 |
| 構成比 | 9.6% | 18.7% | 26.4% | 21.6% | 18.7% | 4.9% |

【地域別】

| | 北勢 | 中南勢 | 伊勢志摩 | 伊賀 | 東紀州 |
|------|-------|-------|-------|------|------|
| 回答者数 | 380人 | 228人 | 90人 | 55人 | 16人 |
| 構成比 | 49.4% | 29.6% | 11.7% | 7.2% | 2.1% |

北勢：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曽岬町、東員町、菟野町、朝日町、川越町

中南勢：津市、松阪市、多気町、明和町、大台町

伊勢志摩：伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町

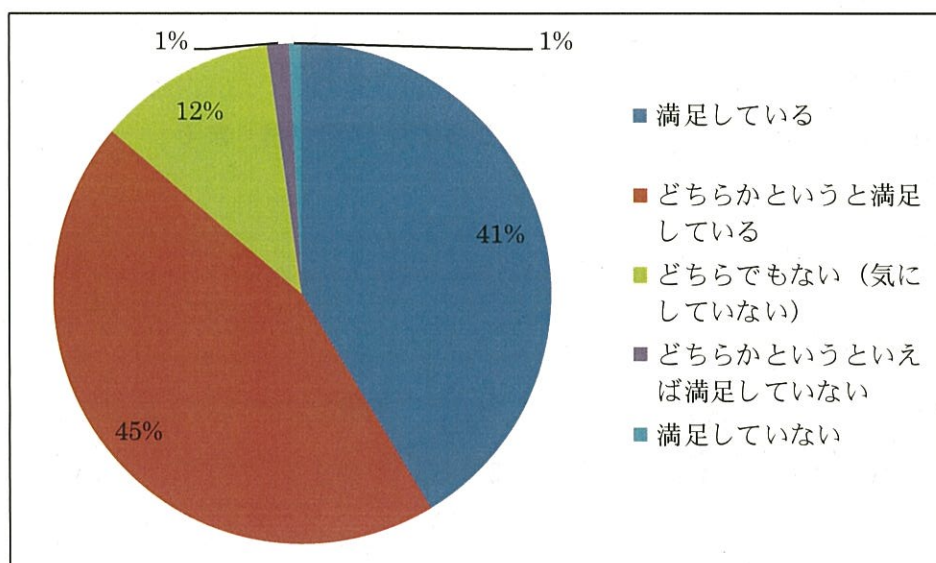
伊賀：名張市、伊賀市

東紀州：尾鷲市、熊野市、紀北町、紀宝町

アンケート結果

Q1 生産物について

あなたは、三重県産の食品のうち生鮮物（青果物、魚介類、米、肉等）に対してどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

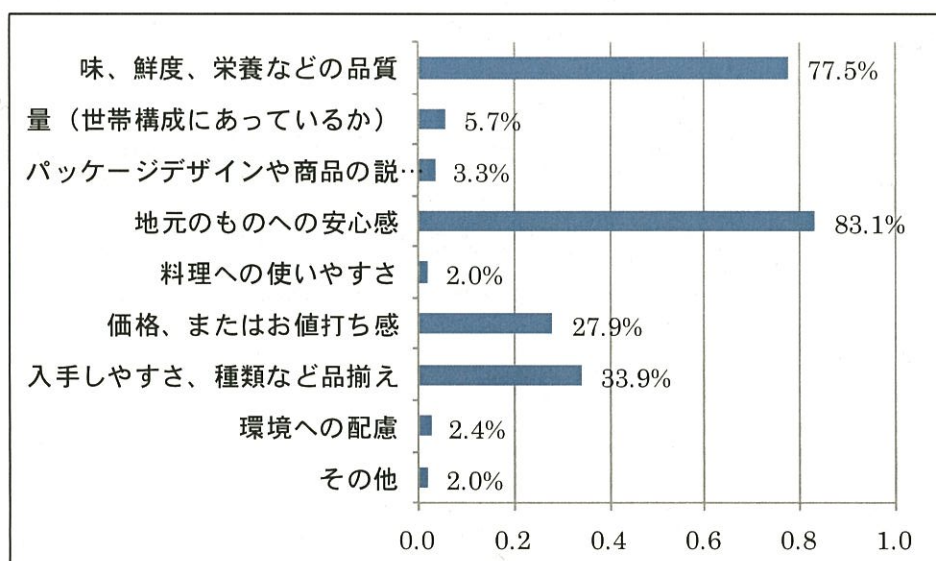


三重県産の生鮮物について、「満足している」と回答された方は318人（41.4%）、
「どちらかという満足している」と回答された方は345人（44.9%）でした。

Q2 Q1でそう感じた理由

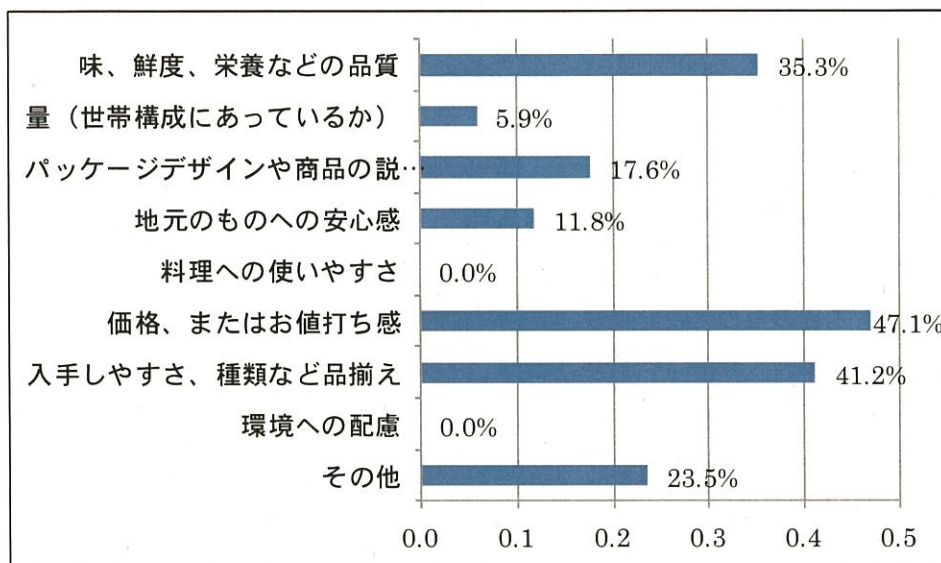
Q1でそう感じた理由を3つまで選んでください。

- 「満足している」「どちらかという満足している」を選択された方（663人）



「地元のものへの安心感」を選択された方は551人（83.1%）、「味、鮮度、栄養などの品質」を選択された方は514人（77.5%）でした。

●「満足していない」「どちらかという満足していない」を選択された方（17人）

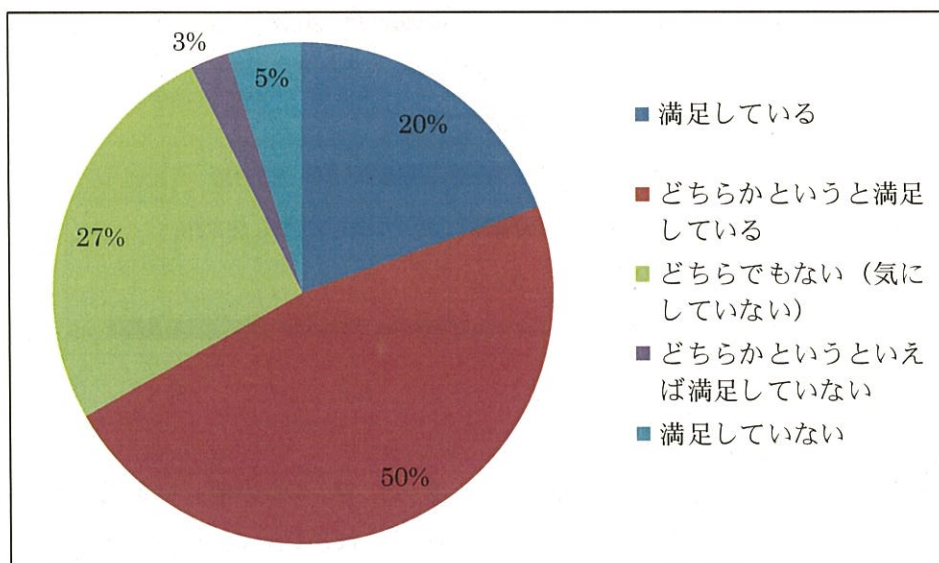


「価格、またはお値打ち感」を選択された方は8人（47.1%）、「入手しやすさ、種類など品揃え」を選択された方は7人（41.2%）でした。

「その他」の回答では、「産地偽装問題などがあったため」「放射性物質などの安全性の確保」などがありました。

Q3 加工食品について

あなたは、三重県産の加工食品（三重県産の食材を利用した加工食品）に対してどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

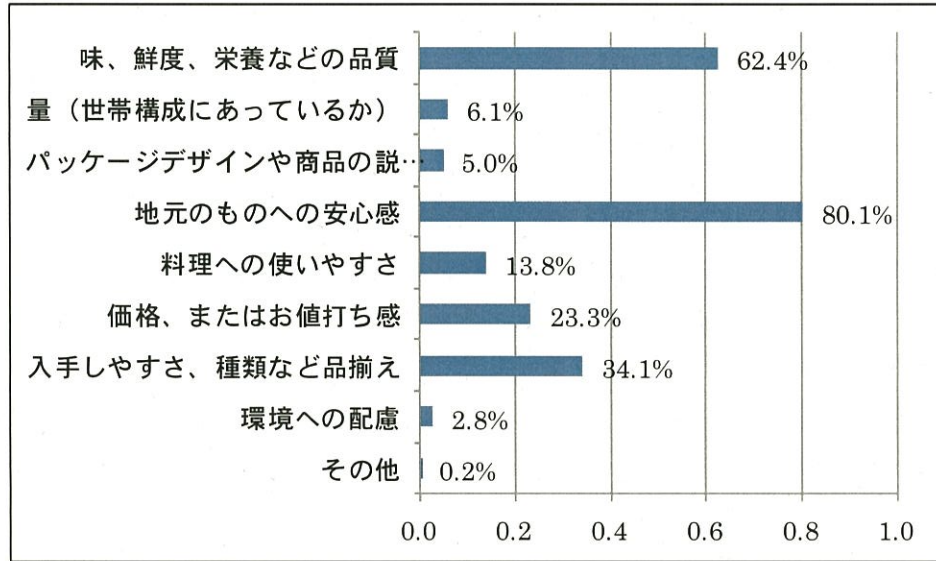


三重県産の加工食品について、「満足している」と回答された方は156人(20.3%)、「どちらかという満足している」と回答された方は381人(49.5%)でした。

Q4 Q3でそう感じた理由

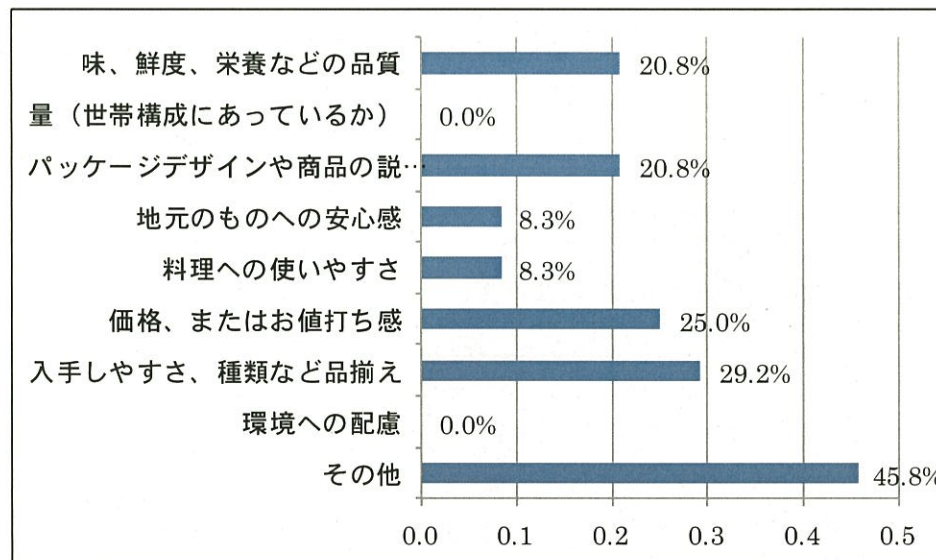
Q3でそう感じた理由を3つまで選んでください。

●「満足している」「どちらかという満足している」を選択された方(537人)



「地元のものへの安心感」を選択された方は430人(80.1%)、「味、鮮度、栄養などの品質」を選択された方は335(62.4%)でした。

●「満足していない」「どちらかという満足していない」を選択された方(24人)



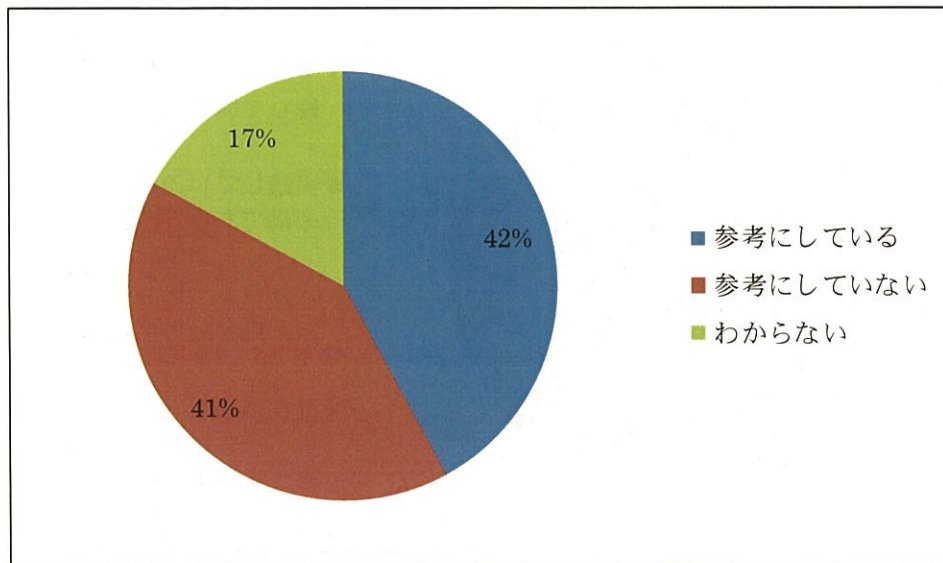
「その他」を選択された方は11人(45.8%)で、「その他」の回答には、「食品偽装、賞味期限の捏造」「安全性への不審」「お土産でこれといったものがない」などがあり

ました。「入手しやすさ、種類などの品揃え」を選択された方は7人（29.2%）でした。

Q5 食生活指針について

日々の食習慣についてお聴きします。

ふだんの健全な食生活を実践するために、食生活上の何らかの指針等を参考にしていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

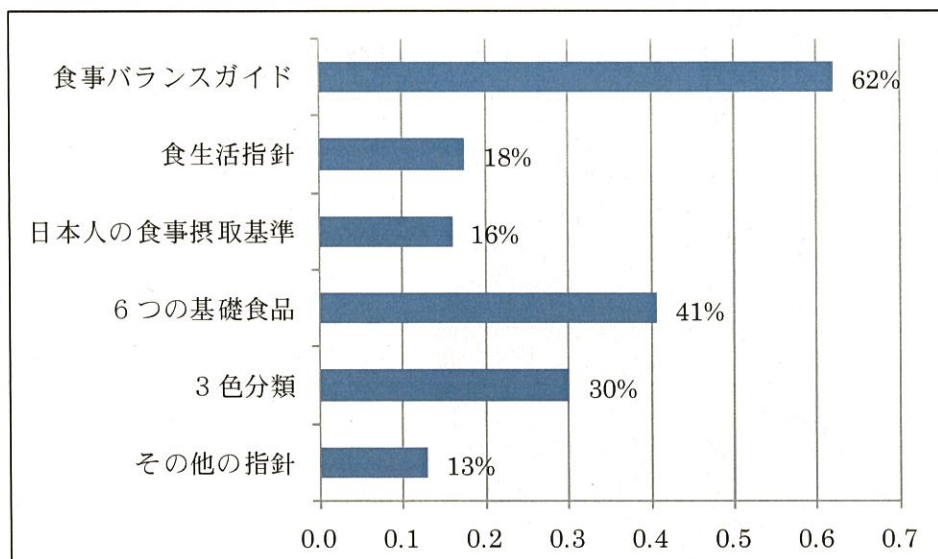


食生活上、何らかの指針等を「参考になっている」と回答された方は324人（42.1%）、
「参考にしていない」と回答された方は314人（40.8%）でした。

Q6 参考になっている指針について

Q5で「参考になっている」と答えた方にお聴きします。

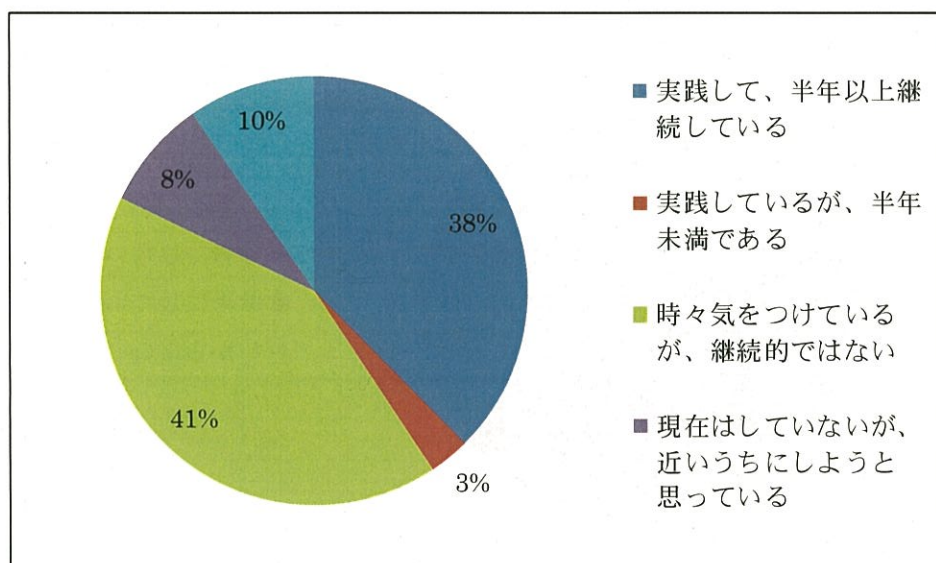
どのような指針等を参考にしていますか。3つまで選んでください。



「食事バランスガイド」を選択された方は201人（62.0%）、「6つの基礎食品」は132人（40.7%）でした。

Q7 メタボリックシンドロームについて

メタボリックシンドローム（内蔵脂肪症候群）の予防や改善のために、「適切な食事」「定期的な運動」「週に複数回の体重測定」のいずれかを実践していますか。あてはまるものを1つ選んでください。



メタボリックシンドロームについて、「時々気をつけているが、継続的ではない」と回答された方は318人（41.4%）、「実践して、半年以上継続している」と回答された方は289人（37.6%）でした。

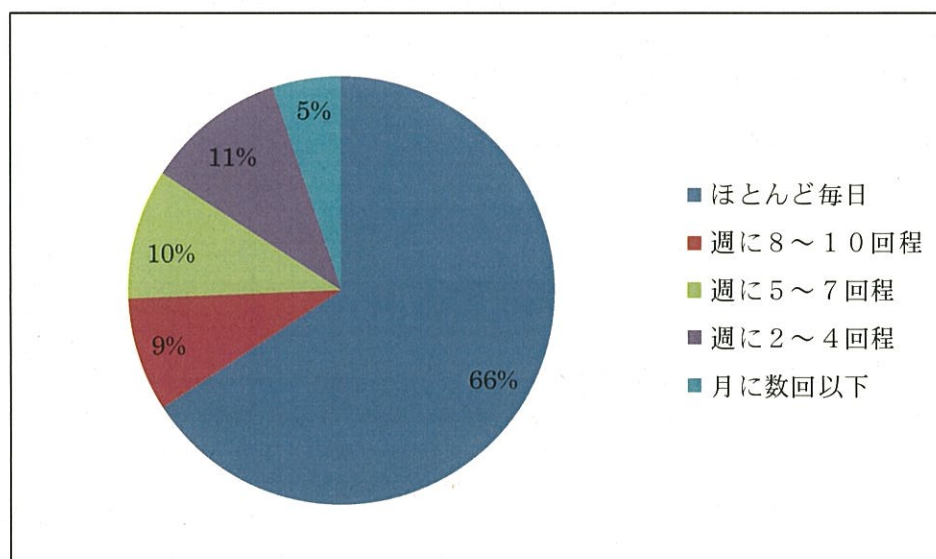
Q8 家族との食事について

同居家族がいらっしゃる方にお聴きします。

家族と一緒に食事をする機会はどの程度ありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※ 家族の数は問いません。

※ 朝食および夕食の場合でお答えください。（1週間で総数14回になります。）

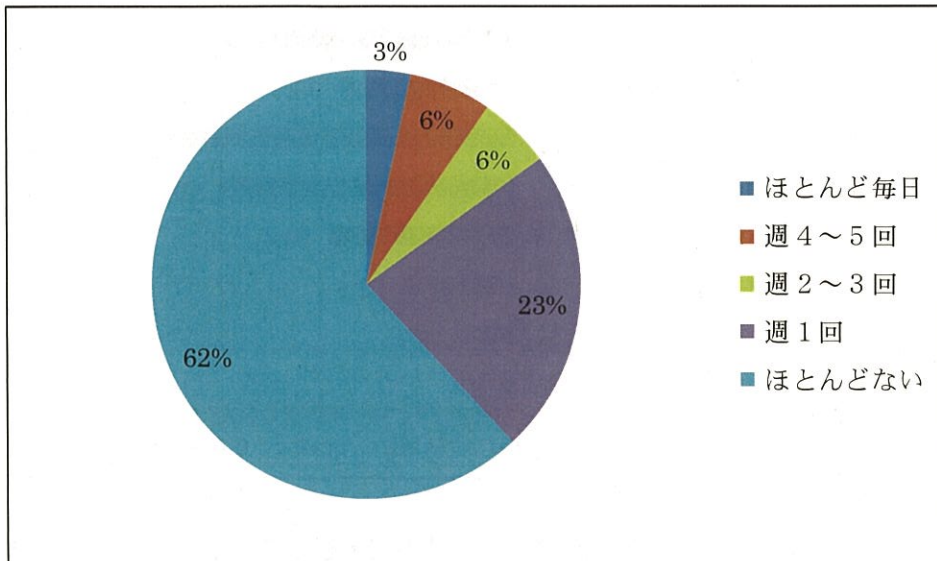


家族との食事について回答された方は733人で、そのうち「ほとんど毎日」と回答された方は482人(65.8%)でした。

Q9 家族以外との食事について

全員にお聴きします。

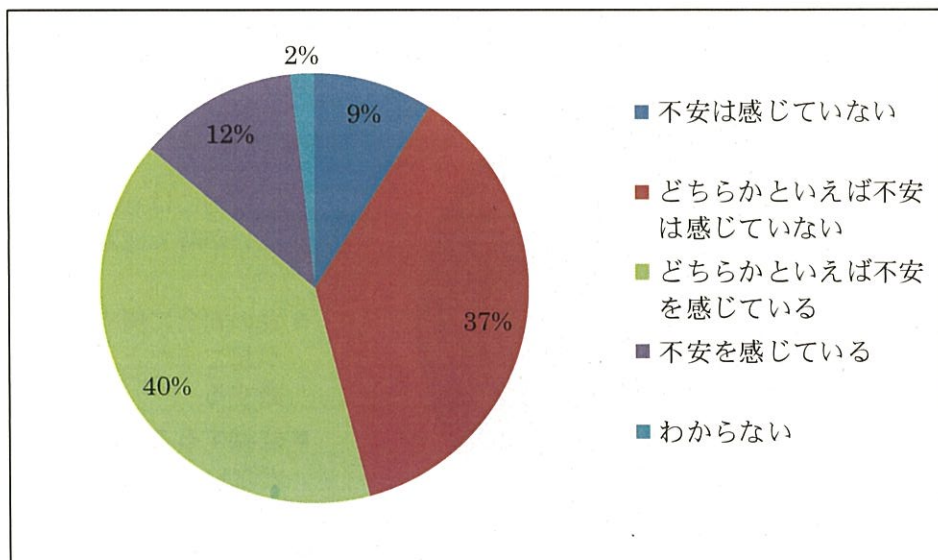
家族以外の方(友人・知人・会合など)と一緒に食事をすることはありますか。あてはまるものを1つ選んでください。



家族以外との食事について、「ほとんどない」と回答された方は476人(61.9%)、「週1回」と回答された方は177人(23.0%)でした。

Q10 食品の安全性について

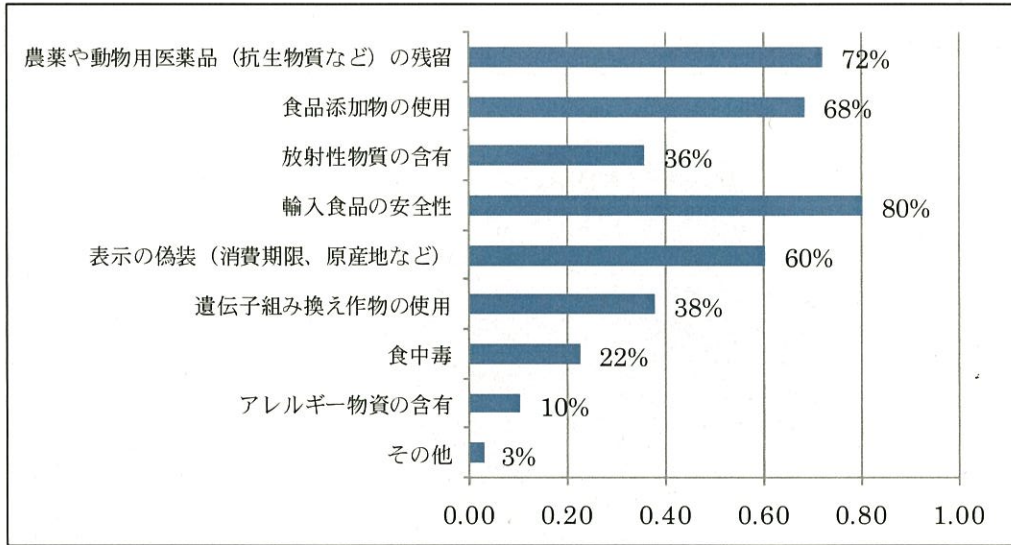
あなたは、食品の安全性について、普段どう感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。



食品の安全性について、「不安を感じていない」「どちらかといえば不安を感じていない」

と回答された方は353人（45.9%）、「どちらかといえば不安を感じている」「不安を感じている」と回答された方は402人（52.3%）でした。

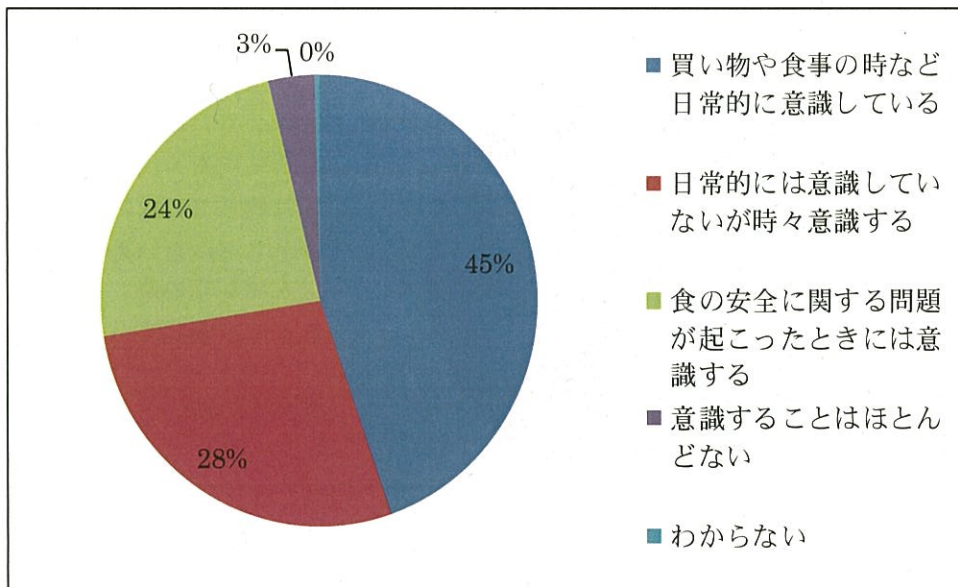
Q11 Q10で「どちらかといえば不安を感じている」「不安を感じている」と答えた方にお聞きします。それはどのような不安ですか。あてはまるものを選んでください。



Q10で「どちらかといえば不安を感じている」「不安を感じている」と答えた方は402人で、どのような不安かについては「輸入食品の安全性」と回答された方は322人（80.1%）、「農業や動物用医薬品（抗生物質など）の残留」と回答された方は289人（71.9%）、「食品添加物の使用」と回答された方は274人（68.2%）でした。

Q12 食の安全に関する意識について

あなたは、どのような時に食の安全について意識しますか。あてはまるものを1つ選んでください。

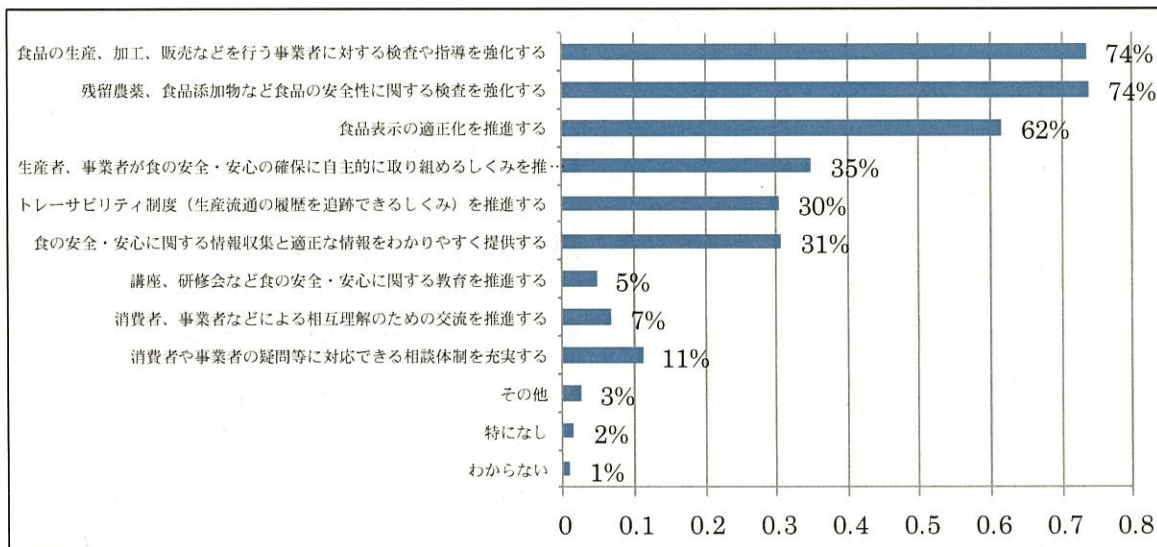


食の安全に関する意識について、「買い物や食事の時など日常的に意識している」と回答された方は344人（44.7%）、「日常的には意識していないが時々意識する」と回答された方は214人（27.8%）でした。

Q13 食の安全・安心のために行政に期待する取り組みについて

現在、行政では、食品の安心を得るためにさまざまな取り組みを行っていますが、次の中で、あなたが期待する取り組みはどれですか。

あてはまるものを選んでください。

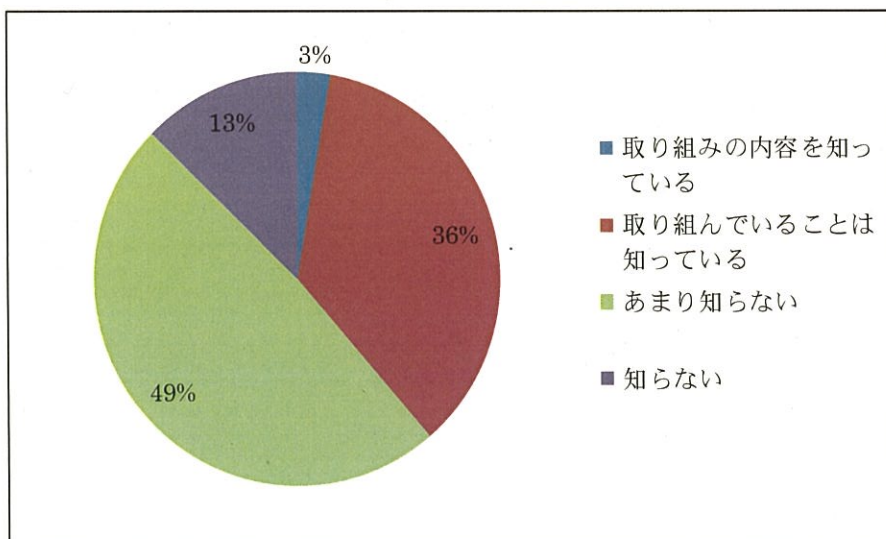


食の安全・安心のために行政に期待する取り組みについて、「残留農薬、食品添加物など食品の安全性に関する検査を強化する」と答えた方は568人（73.9%）、「食品の生産、加工、販売などを行う事業者に対する検査や指導を強化する」と回答された方は565人（73.5%）でした。「その他」の回答では、「罰則強化」「食品偽装のチェック」などがありました。

Q14 食の安全・安心確保のための行政の取り組みについて

行政が、食の安全・安心確保のために取り組んでいる具体的な内容について、どの程度ご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。

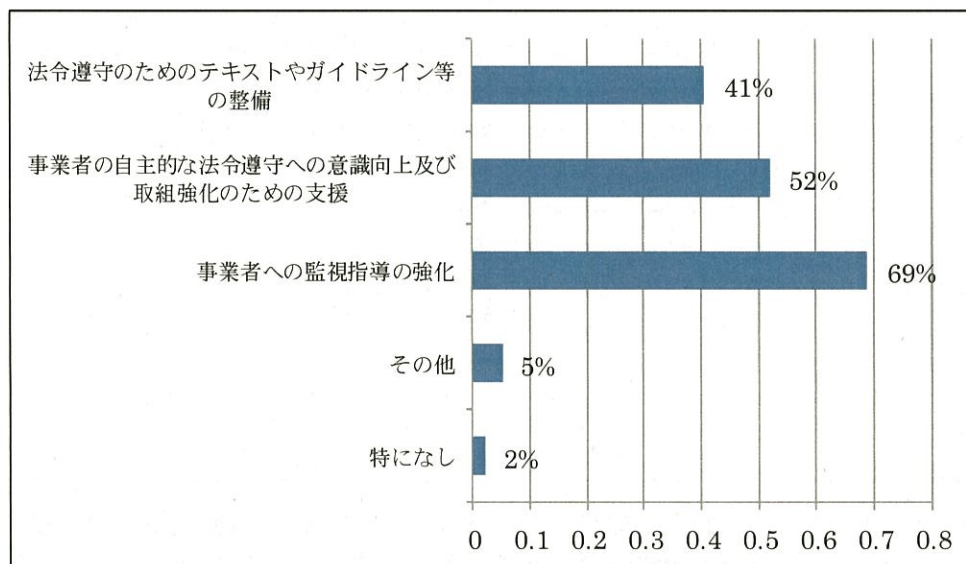
※具体的な取り組み内容は、Q13の選択肢を参考にしてください。



食の安全・安心確保のための行政の取り組みについて、「あまり知らない」と答えた方は374人(48.6%)、「取り組んでいることは知っている」と回答された方は277人(36.0%)でした。

Q15 食の安全・安心に関する情報提供について

米の産地偽装やメニューの不適切な表示など食の安全・安心に関わる事案が発生しましたが、再発防止に向けて必要だと考えられる行政の取り組みはどのようなことですか。次の中からあてはまるものを選んでください。



必要だと考えられる行政の取り組みで、「事業者への監視指導強化」と回答された方は530人(68.9%)、「事業者の自主的な法令遵守への意識向上及び取組強化のための支援」と回答された方は399人(51.9%)でした。

その他の回答では、「罰則強化」「モラルの向上」などがありました。

e-モニターの皆様、ご協力いただき誠にありがとうございました。